

# 腫瘍医学分野

## 論文

### A 欧文

#### A-a

1. Imai N, Tawara I, Yamane M, Muraoka D, Shiku H, Ikeda H: CD4+ T cells support polyfunctionality of cytotoxic CD8+ T cells with memory potential in immunological control of tumor. *Cancer science* 111(6): 1958-1968, 2020. doi: 10.1111/cas.14420. (IF: 6.716)
2. Muraoka D, Saito D, Sawada S, Akiyoshi K, Harada N, Ikeda H: Identification of a dominant CD8+ CTL epitope in the SARS-associated coronavirus 2 spike protein. *Vaccine* 38(49): 7697-7701, 2020. doi: 10.1016/j.vaccine.2020.10.039. (IF: 3.641)
3. Ishihara M, Tono Y, Miyahara Y, Muraoka D, Harada N, Kageyama S, Sasaki T, Hori Y, Soga N, Uchida K, Shiraiishi T, Sato E, Kanda H, Mizuno T, Gill A Webster, Ikeda H, Katayama N, Sugimura Y, Shiku H: First-in-human phase I clinical trial of the NY-ESO-1 protein cancer vaccine with NOD2 and TLR9 stimulants in patients with NY-ESO-1-expressing refractory solid tumors. *Cancer Immunol Immunother* 69(4): 663-675, 2020. doi: 10.1007/s00262-020-02483-1. (IF: 6.968)
4. Ishihara M, Kageyama S, Miyahara Y, Ishikawa T, Ueda S, Soga N, Naota H, Mukai K, Harada N, Ikeda H, Shiku H: MAGE-A4, NY-ESO-1 and SAGE mRNA expression rates and co-expression relationships in solid tumours. *BMC cancer* 20(1): 606, 2020. doi: 10.1186/s12885-020-07098-4. (IF: 4.43)

### B 邦文

#### B-c

1. 安井潔, 池田裕明: がん免疫における新規治療アプローチ 2) TCR-T細胞によるがん治療. *腫瘍内科*, 科学評論社 26(1): 71-78, 2020.
2. 池田裕明: ゲノム編集技術の応用. *実験医学*, 羊土社 38(2): 123-128, 2020.
3. 池田裕明: 第3章 2 非自己のリンパ球を用いたがん免疫療法の開発. *実験医学増刊号「細胞医薬」*, 羊土社 38(17): 115-121, 2020.
4. 池田裕明: 遺伝子改変T細胞療法. *医学のあゆみ* 275(11): 1197-1202, 2020.

#### B-c-2

1. 池田裕明: 遺伝子改変 T 細胞療法の新展開. *日本癌学会総会記事* 第79回: 80, 2020.
2. 池田裕明: 癌免疫細胞療法の基礎と臨床. *日本癌学会総会記事* 第79回: 104, 2020.
3. 村岡大輔, 道津洋介, 園田祐大, 小郷尚久, 浅井章良, 池田裕明: シグナルを増強する低分子化合物は T 細胞の活性化を促進し抗腫瘍免疫応答を増強する. *日本癌学会総会記事* 第79回: 131, 2020.
4. 影山慎一, 宮原慶裕, 石原幹也, 北野滋久, 山本昇, 加藤栄史, 三嶋秀行, 服部浩佳, 岡本幸子, 糠谷育衛, 峰野純一, 池田裕明, 渡辺隆, 珠玖洋: NY-ESO-1/TCR-T 細胞輸注後のサイトカイン放出症候群における T 細胞及び血清解析. *日本癌学会総会記事* 第79回: 163, 2020.
5. 安井 潔, 岡田怜美, 岡本幸子, 峰野 純, 村岡大輔, 珠玖 洋, 江口 晋, 池田裕明: T細胞やNK細胞による拒絶反応、およびGVHDを回避しうる「ステルスT細胞」を用いたがん免疫療法の開発. *日本がん免疫学会総会プログラム・抄録集* 第24回: 78-7878, 2020.
6. 道津洋介, 村岡大輔, 園田祐大, 浅井章良, 迎 寛, 池田裕明: NF- $\kappa$ Bシグナリングを介して腫瘍抗原直接認識能を向上する低分子化合物は腫瘍抗原特異的T細胞輸注療法の効果を増強する. *日本がん免疫学会総会プログラム・抄録集* 第24回: 88, 2020.
7. 影山慎一, 宮原慶裕, 石原幹也, 北野滋久, 山本昇, 加藤栄史, 三嶋秀行, 服部浩佳, 船越 建, 小島隆嗣, 笹田哲朗, 岡本幸子, 戸村大助, 糠谷育衛, 蝶野英人, 峰野純一, 池田裕明, 渡辺 隆, 珠玖 洋: NY-ESO-1/TCR-T細胞輸注後のサイトカイン放出症候群と輸注細胞の特性解析. *日本がん免疫学会総会プログラム・抄録集* 第24回: 159, 2020.
8. 原田直純, 村岡大輔, 珠玖 洋, 秋吉一成: ナノゲル抗原DDSによる免疫療法抵抗性がんの克服に向けて. *Drug Delivery System*, 日本DDS学会 35(1): 64-70, 2020.

## 学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
1	0	0	3	0	6

## 社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
池田裕明・教授	評議員	日本癌学会
池田裕明・教授	理事・副理事長	日本がん免疫学会
池田裕明・教授	評議員	日本遺伝子細胞治療学会
池田裕明・教授	Advisor	名古屋国際癌治療シンポジウム
池田裕明・教授	Cancer Science Associate Editor	日本癌学会
池田裕明・教授	リサーチアソシエイト	三重大学大学院医学系研究科
村岡大輔・准教授	リサーチアソシエイト	三重大学大学院医学系研究科
村岡大輔・准教授	客員共同研究員	静岡県立大学

## 競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研究題目
池田裕明・教授	国立研究開発法人日本医療研究開発機構	代表	次世代がん医療創生研究事業 「がん細胞の遺伝子変異を認識する腫瘍浸潤リンパ球のTCRレパトアと認識抗原解析に基づく効果予測法の確立と、同定TCRによる革新的な個別がん免疫療法の開発」
池田裕明・教授	文部科学省	代表	科学研究費助成事業 基盤研究（B） 「難治性腫瘍に対する非自己ストレス細胞を用いた細胞療法の開発」
池田裕明・教授	文部科学省	代表	科学研究費助成事業 挑戦的研究（萌芽） 「消化器腫瘍のネオアンチゲン同定と免疫抑制ネットワーク解除による個別がん免疫療法」
池田裕明・教授	長崎大学	代表	長崎大学第三期中期目標・中期計画における重点研究課題研究費 「個別がん医療のトランスレーショナル・リサーチ実践を目指した基盤構築」
池田裕明・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究（C） 「IRF発現調節とストレス化による有効な抗腫瘍T細胞輸注療法の開発」
村岡大輔・准教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 挑戦的研究（萌芽） 「様々な免疫原性の腫瘍細胞が混在するヘテロジニアスな難治性腫瘍に対する治療法の開発」
村岡大輔・准教授	国立研究開発法人日本医療研究開発機構	分担	医療研究開発革新基盤創成事業 「COVID-19予防のためのナノ粒子型蛋白ワクチンの開発」

村岡大輔・准教授	長崎大学	代表	大学高度化推進経費（科学研究費獲得支援経費） 「腫瘍関連マクロファージを味方にし腫瘍環境を改善する次世代型DDSの開発」
村岡大輔・准教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究（B） 「IDO/TDO二重阻害に基づく新規がん免疫治療薬の開発に向けた創薬基盤研究」
安井 潔・助教	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究（C） 「IRF発現調節とステルス化による有効な抗腫瘍T細胞輸注療法の開発」
池田裕明・教授	タカラバイオ社	siTCR技術を用いた、がんに対する細胞輸注療法の開発	
池田裕明・教授 村岡大輔・准教授 安井 潔・助教	三重大学	難治性がんに対する先端的ながん免疫療法の開発	

## その他

### 非常勤講師

氏名・職	職（担当科目）	関係機関名
池田裕明・教授	非常勤講師（生化学）	島根大学医学部
池田裕明・教授	セミナー講師	佐賀大学医学部
村岡大輔・准教授	非常勤講師（免疫学）	東洋大学生命科学部
村岡大輔・准教授	セミナー講師	がん免疫総合研究センター